

参考資料

企業局発電所（電気事業所管）一覧	72
1 水力発電所	
2 汽力発電所	
3 太陽光発電所	
投資・財政計画	75
1 全事業の財政計画（10年間）	
2 電気事業（30年間）	
3 工業用水道事業（30年間）	
4 水道事業（30年間）	
用語の解説	88

企業局発電所（電気事業所管）一覧

1 水力発電所

（令和3年3月末現在）

事務所	発電所名	所在地	発電形式	運転開始	最大出力 常時出力 (kW)
利根 電 事 務 所	相 俣	利根郡 みなかみ町 相俣	ダ ム 式	S33. 8. 28	7,700 1,200
	相俣第二		※ダ ム 式	H10. 6. 16	120 88
	桃 野	利根郡 みなかみ町 上津	水 路 式	S33. 5. 2 (一部) S33. 8. 28 (全部)	6,200 1,300
	白 沢	沼田市 白沢町尾合	ダム水路式	S39. 12. 19 (一部) S40. 5. 1 (全部)	26,600 —
	利 南	沼田市 上久屋町	ダム水路式	S39. 4. 28	5,500 370
	新利南	沼田市 上久屋町	※ダム水路式	H23. 7. 14	1,000 270
	奈良俣	利根郡 みなかみ町 藤原	ダ ム 式	H 1. 8. 8 (一部) H 2. 3. 14 (全部)	12,800 —
吾妻 電 事 務 所	中之条	吾妻郡 中之条町 大字折田	ダム水路式	S35. 2. 27	10,820
	中之条2号機				510
	中之条ダム	吾妻郡 中之条町 大字四万	※ダ ム 式	H10. 7. 3	180 25
	四 万	吾妻郡 中之条町 大字四万	水 路 式	S36 5. 12	51 49
	日向見	吾妻郡 中之条町 大字四万	ダ ム 式	H11. 6. 28	5,000 409
	湯 川	吾妻郡 中之条町 大字小雨	ダム水路式	S40. 12. 9	1,000 58
	矢 倉	吾妻郡 中之条町 大字入山	水 路 式	S58. 10. 1	8,200 1,300
	広 池	吾妻郡 中之条町 大字赤岩	水 路 式	S61. 7. 1	7,800 1,700
	熊 倉	吾妻郡 中之条町 大字入山	水 路 式	H 6. 7. 14 (一部) H 6. 9. 27 (全部)	4,200 490
	狩 宿	吾妻郡 長野原町 大字宍桑	水 路 式	H 8. 10. 26	2,900 130
	狩宿第二	吾妻郡 長野原町 大字宍桑	水 路 式	H16. 6. 18	1,200 350
	八ッ場	吾妻郡 長野原町 大字川原畑	ダ ム 式	R3. 3. 31予定	61 —
					11,700 1,400

事務所	発電所名	所在地	発電形式	運転開始	最大出力 常時出力 (kW)
坂東 発電 事務所	田口	前橋市 田口町	水路式	S41. 4. 24	6,000 3,700
	関根	前橋市 関根町	水路式	S42. 5. 13 (一部) S42. 6. 9 (全部)	7,800 3,800
	小出	前橋市 上小出町	水路式	S42. 5. 13	8,400 2,700
	柳原	前橋市 大手町	水路式	S42. 5. 13 (一部) S42. 6. 9 (全部)	7,500 2,900
	天狗岩	北群馬郡 吉岡町 大字漆原	水路式	S57. 6. 11	540 —
	下久保	埼玉県 児玉郡 神川町 大字矢納	ダム式	S43. 5. 10 (一部) S43. 12. 19 (全部)	15,000 —
	下久保第二		※ダム式	H13. 6. 28	270 140
	鬼石	藤岡市 鬼石	ダム水路式	H14. 2. 20	790 40
渡良瀬 発電 事務所	高津戸	みどり市 大間々町高津戸	ダム式	S48. 6. 30	5,300 730
	小平	みどり市 大間々町小平	水路式	S51. 5. 14	36,200 —
	東	みどり市 東町座間	ダム式	S51. 5. 14	20,300 —
	東第二		※ダム式	H18. 9. 12	240 170
	沢入	みどり市 東町沢入	ダム水路式	S56. 4. 8	11,000 1,210
	桐生川	桐生市 梅田町	ダム式	S59. 6. 2	470 15
	田沢	桐生市 黒保根町	水路式	H28. 5. 20	2,000 —

※ダム直下の減水区間を解消し河川環境を改善するための「河川維持流量」を利用した発電所
(ただし、新利南発電所は河川維持流量と平出ダムからの無効放流を合わせて発電に利用)

2 汽力発電所

発電所名	所在地	発電形式	運転開始	最大出力 (kW)
高 浜	高崎市 高浜町	ガスタービン 単純開放式 蒸気タービン 復水式	H8. 11. 1	25, 000

平成24年10月からガスタービン発電を休止しており、現在は蒸気タービン発電のみの運転となっている。

3 太陽光発電所

発電所名	所在地	太陽電池の種類	運転開始	最大出力 (kW)
板倉ニュータウン 太陽光	邑楽郡 板倉町 朝日野	化合物系 (C I S)	H25. 7. 17	【東地区】 1, 999 【西地区】 269
亀里太陽光	前橋市 亀里町	化合物系 (C I S)	H26. 7. 23	500
群馬コンベンション センター太陽光	高崎市 岩押町	単結晶 シリコン	R2. 7. 16	499

投資・財政計画

経営に不可欠の主要な施設について、その耐用年数等を踏まえて、維持更新の見通しを立てるとともに、本計画に基づき、将来にわたって安定的に事業を継続していくため、今後30年間の投資・財政計画を作成しています。そのうちの10年間の見通しの詳細を本計画の本文に掲載しています。なお、団地造成事業及び施設管理事業については、事業の性格上、10年間の投資・財政計画を作成しています。

1 全事業の財政計画

(単位：百万円)

項目		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
電気事業	収益的収支	収入	8,461	8,452	8,071	8,496	9,163	9,953	11,483	11,483	11,888	11,887
		営業収益	8,316	8,315	7,934	8,362	9,033	9,823	11,354	11,354	11,760	11,760
		支出	6,891	7,240	6,762	7,353	7,083	6,888	6,841	7,339	7,227	7,023
		当年度純損益	1,570	1,211	1,309	1,143	2,080	3,065	4,643	4,143	4,661	4,864
	資本的支出	支出	4,788	11,194	8,764	10,189	6,702	6,361	4,357	4,923	6,194	5,509
		建設改良費	4,041	10,356	7,761	9,107	5,207	4,432	3,535	3,949	6,010	3,881
		総支出額(収益的+資本的)	11,679	18,434	15,526	17,543	13,785	13,249	11,197	12,263	13,421	12,532
	企業債残高	333	254	179	132	88	53	37	21	12	3	
工業用水道事業	収益的収支	収入	1,899	1,898	1,901	1,887	1,913	1,911	1,912	1,905	1,900	1,904
		営業収益	1,596	1,596	1,601	1,596	1,626	1,626	1,630	1,626	1,626	1,632
		支出	1,566	1,578	1,577	1,551	1,575	1,576	1,626	1,634	1,636	1,718
		当年度純損益	334	319	323	336	338	334	286	272	264	186
	資本的支出	支出	1,439	1,526	1,612	1,678	2,119	2,559	1,494	1,645	2,207	2,336
		建設改良費	742	864	883	991	1,406	1,850	762	913	1,466	1,573
		総支出額(収益的+資本的)	3,005	3,104	3,189	3,229	3,694	4,135	3,121	3,278	3,842	4,054
	企業債等残高	6,829	6,826	6,955	7,055	7,246	7,876	8,939	8,865	8,941	9,574	
水道事業	収益的収支	収入	4,767	4,718	4,641	4,651	4,673	4,696	4,726	4,734	4,746	4,761
		営業収益	4,466	4,446	4,374	4,387	4,410	4,433	4,467	4,476	4,496	4,515
		支出	3,244	3,198	3,386	3,515	3,622	3,868	3,941	3,974	3,945	3,939
		当年度純損益	1,523	1,520	1,255	1,136	1,051	828	786	760	801	823
	資本的支出	支出	2,439	3,942	6,516	5,496	4,567	2,719	2,016	1,166	1,273	979
		建設改良費	1,435	2,945	5,557	4,570	3,768	2,037	1,395	674	807	553
		総支出額(収益的+資本的)	5,684	7,140	9,902	9,011	8,189	6,586	5,956	5,140	5,218	4,918
	企業債残高	8,516	7,519	6,560	5,633	4,834	4,153	3,533	3,041	2,575	2,148	
団地造成事業	収益的収支	収入	3,699	3,285	4,736	4,343	5,965	4,190	4,170	3,956	4,030	5,345
		営業収益	3,695	3,281	4,732	4,338	5,961	4,186	4,166	3,952	4,026	5,340
		支出	3,477	2,943	4,494	4,075	5,363	3,892	3,557	3,681	3,732	4,531
		当年度純損益	222	342	242	267	602	298	613	275	298	814
	資本的支出	支出	1,814	2,525	3,724	3,611	5,692	3,391	3,301	3,475	3,330	3,216
		土地造成費	1,696	2,486	3,709	3,611	5,692	3,391	3,301	3,475	3,329	3,215
		総支出額(収益的+資本的)	5,292	5,468	8,218	7,686	11,055	7,283	6,858	7,157	7,061	7,747
	企業債残高	54	15	0	0	0	0	0	0	0	0	
施設管理事業	収益的収支	収入	791	791	792	792	792	792	793	793	793	795
		営業収益	786	786	787	787	787	787	788	788	788	790
		支出	833	599	597	597	594	596	600	603	603	604
		当年度純損益	▲42	192	195	195	198	196	193	190	190	191
	資本的支出	支出	298	295	453	456	488	477	303	309	246	265
		建設改良費	150	148	301	301	327	310	285	285	216	234
		総支出額(収益的+資本的)	1,131	894	1,050	1,053	1,083	1,072	903	912	849	869
	他会計借入金残高	904	756	754	749	738	721	853	979	1,099	1,218	
全事業計	収益的収支	収入	19,618	19,144	20,141	20,169	22,506	21,541	23,085	22,871	23,357	24,692
		営業収益	18,859	18,423	19,428	19,470	21,817	20,854	22,405	22,195	22,695	24,037
		支出	16,012	15,559	16,816	17,092	18,238	16,820	16,564	17,232	17,143	17,815
		当年度純損益	3,607	3,585	3,324	3,077	4,269	4,721	6,520	5,639	6,214	6,878
	資本的支出	支出	10,779	19,483	21,068	21,431	19,568	15,507	11,471	11,518	13,249	12,305
		建設改良費等	8,065	16,798	18,210	18,579	16,401	12,020	9,278	9,296	11,828	9,456
		総支出額(収益的+資本的)	26,791	35,041	37,885	38,523	37,806	32,326	28,035	28,749	30,392	30,120
	企業債等残高	16,637	15,370	14,448	13,569	12,906	12,803	13,363	12,907	12,628	12,943	

2 電気事業

(1) 設備投資計画

建設改良費（資本的支出）	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
建設改良費	1,278	4,397	4,917	7,211	4,601	3,666	1,558	3,551	4,696	3,296	3,296	3,296	1,358
設備整備費	2,579	5,774	2,659	1,711	421	581	1,792	213	1,129	479	644	776	398
修繕費（収益的支出+積立金）	2,185	2,158	1,836	2,256	1,662	1,980	1,708	1,521	1,479	1,619	2,239	2,143	2,268
合計	6,041	12,330	9,412	11,178	6,684	6,227	5,058	5,285	7,304	5,394	6,179	6,215	4,024

主な工事内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
建設改良費													
(1) 新規													
霧積発電所建設工事													
水力発電所の建設													
(2) リニューアル工事													
利根発電事務所													
吾妻発電事務所													
坂東発電事務所													
渡良瀬発電事務所													
設備整備費													
(1) オイル減量化工事													
利根発電事務所													
吾妻発電事務所													
坂東発電事務所													
渡良瀬発電事務所													
(2) 水車ランナー等取替工事													
利根発電事務所													
吾妻発電事務所													
渡良瀬発電事務所													
修繕費（オーバーホール）													
利根発電事務所		④⑦					①②③	⑥					
吾妻発電事務所	⑩	⑭⑰		⑯	⑪			⑧		⑱	⑬	⑰	
坂東発電事務所		⑳	㉑㉒	⑲㉓			㉔						㉕㉖
渡良瀬発電事務所	㉗				㉘	㉙㉚		㉛			㉜		
凡例：①相保 ②相保第二 ③桃野 ④利南 ⑤白沢 ⑥奈良保 ⑦新利南 ⑧熊倉 ⑨矢倉 ⑩湯川 ⑪広池 ⑫狩宿 ⑬狩宿第二 ⑭日向見 ⑮四万 ⑯高津戸 ⑰桐生川 ⑱田沢 ㉒霧積													
管理総合事務所													

(単位:百万円)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	合計
110	2,292	2,292	2,292	2,292	1,161	1,301	2,737	0	0	0	4,448	4,448	4,448	0	0	0	74,942
176	245	549	312	273	606	781	854	1,368	2,546	2,897	216	508	506	3,693	3,378	3,613	41,677
2,493	1,821	2,372	2,029	1,750	1,497	1,575	2,036	2,102	1,853	2,568	2,042	2,308	2,354	1,782	1,510	1,667	58,813
2,778	4,357	5,213	4,633	4,314	3,265	3,658	5,627	3,470	4,399	5,465	6,706	7,264	7,308	5,475	4,888	5,280	175,432

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
建設改良費																
(1) 新規																
(2) リニューアル工事																
設備整備費																
(1) オイル減量化工事																
(2) 水車ランナー等取替工事																
修繕費 (オーバーホール)																
			④⑤ ②⑦	⑥									④⑤ ②⑦	③⑥		
⑭⑮		⑯		⑨		⑱		⑩	⑫	⑮		⑭		⑧⑨ ⑯		⑱
⑲⑳		㉔㉕	㉖							⑲⑳		㉑㉒	㉓	㉔		
㉑㉒																
㉓		㉘㉙	㉚	㉛			㉜					㉘㉙			㉚㉛	
		㉞											㉞			
⑯中之条ダム発 ⑰中之条 ⑱ハッ場 ⑲下久保 ⑳下久保第二 ㉑鬼石 ㉒田口 ㉓関根 ㉔小出 ㉕柳原 ㉖天狗岩 ㉗沢入 ㉘東 ㉙東第二 ㉚小平																

(2) 財政計画

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
電力量(百万kWh)	815	815	782	683	702	742	806	806	841	841	781	781	841

ア 事業量

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収入	8,461	8,452	8,071	8,496	9,163	9,953	11,483	11,483	11,888	11,887	11,172	11,172	11,737
営業収益	8,316	8,315	7,934	8,362	9,033	9,823	11,354	11,354	11,760	11,760	11,044	11,044	11,610
支出	6,891	7,240	6,762	7,353	7,083	6,888	6,841	7,339	7,227	7,023	7,347	7,724	7,575
維持管理費	3,186	3,279	3,332	3,110	3,106	3,190	3,181	3,325	3,307	3,290	3,378	3,356	3,337
減価償却費(既存)	1,493	1,283	1,156	1,123	1,082	1,051	1,027	968	868	838	806	767	745
減価償却費(新規)	351	454	682	778	1,010	1,027	1,362	1,399	1,408	1,663	1,681	1,705	2,006
当年度純損益	1,570	1,211	1,309	1,143	2,080	3,065	4,643	4,143	4,661	4,864	3,825	3,447	4,162

イ 収益的収支

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収入	210	286	365	364	370	362	160	199	255	320	403	505	552
企業債借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計貸付償還金	206	282	360	360	366	358	156	195	251	315	399	501	547
支出	4,788	11,194	8,764	10,189	6,702	6,361	4,357	4,923	7,530	5,509	5,623	5,699	2,740
建設改良費	4,041	10,356	7,761	9,107	5,207	4,432	3,535	3,949	6,010	3,881	4,058	4,157	1,840
企業債償還金	120	79	75	47	44	36	16	16	9	9	3	0	0
他会計貸付金	603	734	903	1,010	1,426	1,869	781	933	1,486	1,593	1,537	1,517	875
資本的収入額が資本的支出額に不足する額	▲ 4,578	▲ 10,908	▲ 8,399	▲ 9,825	▲ 6,332	▲ 5,999	▲ 4,197	▲ 4,724	▲ 7,275	▲ 5,189	▲ 5,220	▲ 5,193	▲ 2,189
補填財源	4,578	10,908	8,399	9,825	6,332	5,999	4,197	4,724	7,275	5,189	5,220	5,193	2,189
企業債残高	333	254	179	132	88	53	37	21	12	3	0	0	0

ウ 資本的収支

※財政計画の考え方

事業量		年間発電電力量実績の過去10年(H21~30)の平均+新規・既設発電所の増量見込み。 リニューアル更新工事に伴う運転停止は3年間と見込む。	
収益的 収支	収入	R5年度までは8.77円、R6年度以降は従量制による売電(11円/kWh)で試算	
	支出	維持管理費	過去10年間(H21~30)の平均とする。
		減価償却費	既存のものはR元年度末時点の「償却・収益化試算表」による。 新規のものは「設備投資計画」に基づく試算による。

(単位：百万 kWh)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
841	841	808	808	808	809	809	809	841	841	841	763	763	763	841	841	841

(単位：百万円)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
11,718	11,713	11,259	11,259	11,259	11,275	11,268	10,722	11,066	11,065	11,030	9,880	7,536	8,630	9,483	9,515	9,515
11,591	11,591	11,138	11,138	11,138	11,155	11,149	10,603	10,952	10,952	10,919	9,777	7,432	8,526	9,379	9,411	9,411
7,908	7,951	8,266	7,404	7,476	7,320	7,187	7,631	7,531	7,364	8,180	7,933	8,080	7,809	7,681	7,674	7,276
3,318	3,513	3,452	3,428	3,405	3,384	3,407	3,386	3,367	3,422	3,398	3,377	3,357	3,338	3,321	3,492	3,461
713	673	581	505	472	420	340	298	268	249	243	201	200	198	171	149	149
2,201	2,208	2,172	2,194	2,202	2,295	2,321	2,346	2,565	2,576	2,490	2,378	2,302	2,279	2,631	2,735	2,641
3,810	3,762	2,993	3,855	3,783	3,956	4,082	3,091	3,535	3,701	2,850	1,947	▲ 544	821	1,802	1,841	2,239

(単位：百万円)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
607	680	754	836	915	964	1,008	1,041	1,058	1,114	1,170	1,232	1,276	1,316	1,317	1,318	1,289
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
603	676	750	832	911	960	1,003	1,036	1,054	1,110	1,166	1,228	1,272	1,311	1,313	1,314	1,285
1,323	3,465	3,905	3,703	3,664	2,977	2,913	4,511	2,158	3,441	3,532	5,299	5,641	5,502	4,202	3,887	4,192
370	2,621	2,925	2,689	2,650	1,852	2,167	3,676	1,453	2,630	2,981	4,748	5,040	5,039	3,777	3,463	3,697
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
928	818	955	990	990	1,100	721	810	680	785	525	526	575	439	400	400	470
▲ 716	▲ 2,784	▲ 3,151	▲ 2,867	▲ 2,749	▲ 2,013	▲ 1,906	▲ 3,470	▲ 1,099	▲ 2,326	▲ 2,361	▲ 4,068	▲ 4,365	▲ 4,187	▲ 2,885	▲ 2,569	▲ 2,903
716	2,784	3,151	2,867	2,749	2,013	1,906	3,470	1,099	2,326	2,361	4,068	4,365	4,187	2,885	2,569	2,903
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資本的 収支	収入	企業債借入金	新たな借入金は、見込んでいない。
		他会計貸付償還金	「他会計貸付金償還計画」+新規分は「他会計貸付金」に基づき試算
	支出	建設改良費	建設改良費及び設備整備費を「設備投資計画」に基づき計上
		企業債償還金	「企業債管理表」による。
		他会計貸付金	「工業用水道事業及び施設管理事業」の「他会計借入金の合計額」
補填財源			資金的収入額が資本的支出額に不足することに対し、資金の不足がないように裏付ける財源。例えば、損益勘定留保資金や利益剰余金などが該当する。
企業債残高			「企業債管理表」による。

3 工業用水道事業

(1) 設備投資計画

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
建設改良費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備整備費	741	864	883	990	1,406	1,849	761	913	1,466	1,573	1,667	1,647	1,005
老朽化対策	356	436	614	613	547	560	421	630	607	1,253	1,354	1,502	981
強靱化	174	408	243	246	610	1,077	24	24	30	35	252	145	24
耐震化	211	20	26	131	250	211	316	259	829	286	61	0	0
合計	741	864	883	990	1,406	1,849	761	913	1,466	1,573	1,667	1,647	1,005

主な工事内容		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
設備整備費（老朽化対策）														
渋川	取水口機械設備工事													
	配水管更新工事													
	水質計器取替工事													
東毛	浄水場高架水槽更新工事													
	管路更新工事													
	電気棟更新工事													
	ポンプ更新工事													
設備整備費（強靱化）														
渋川	薬品タンク室移設工事													
	排水池増設工事													
東毛	利根川取水施設改良工事													
	配管布設工事													
設備整備費（耐震化）														
渋川	浄水施設耐震補強工事													
	配水管路耐震補強工事													
東毛	浄水施設耐震工事													

(単位:百万円)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,058	948	1,085	1,120	1,120	1,230	851	940	810	915	655	656	705	569	530	768	600	30,326
1,033	924	1,061	1,095	1,095	1,230	851	940	810	915	655	656	705	569	530	768	600	24,312
24	24	24	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,414
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,599
1,058	948	1,085	1,120	1,120	1,230	851	940	810	915	655	656	705	569	530	768	600	30,326

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
設備整備費 (老朽化対策)																
設備整備費 (強靱化)																
設備整備費 (耐震化)																

(2) 財政計画

ア 事業量

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
契約水量	72,902	72,902	73,102	72,902	74,907	74,907	75,112	74,907	74,907	75,092	75,298	75,093	75,093
渋川工業用水道	41,471	41,471	41,585	41,471	43,296	43,296	43,415	43,296	43,296	43,296	43,415	43,296	43,296
東毛工業用水道	31,431	31,431	31,517	31,431	31,610	31,610	31,697	31,610	31,610	31,796	31,883	31,796	31,796
実給水量	46,341	46,341	46,468	46,341	47,795	47,795	47,926	47,795	47,795	47,905	48,036	47,905	47,905
渋川工業用水道	31,376	31,376	31,462	31,376	32,757	32,757	32,847	32,757	32,757	32,757	32,847	32,757	32,757
東毛工業用水道	14,965	14,965	15,006	14,965	15,038	15,038	15,079	15,038	15,038	15,148	15,189	15,148	15,148

イ 収益的収支

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収入	1,899	1,898	1,901	1,887	1,913	1,911	1,912	1,905	1,900	1,904	1,905	1,898	1,898
営業収益	1,596	1,596	1,601	1,596	1,626	1,626	1,630	1,626	1,626	1,632	1,636	1,632	1,632
支出	1,566	1,578	1,577	1,551	1,575	1,576	1,626	1,634	1,636	1,718	1,727	1,769	1,818
維持管理費	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586
減価償却費(既存)	643	612	605	585	577	563	555	551	539	533	527	521	518
減価償却費(新規)	52	82	101	119	158	180	244	260	279	296	375	425	481
当年度純損益	334	319	323	336	338	334	286	272	264	186	178	129	79

ウ 資本的収支

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収入	611	734	753	860	1,276	1,719	631	783	1,336	1,443	1,537	1,517	875
他会計借入金	603	734	753	860	1,276	1,719	631	783	1,336	1,443	1,537	1,517	875
支出	1,439	1,526	1,612	1,678	2,119	2,559	1,494	1,645	2,207	2,336	2,475	2,490	1,883
建設改良費	742	864	883	991	1,406	1,850	762	913	1,466	1,573	1,667	1,647	1,005
企業債償還金	655	565	507	431	413	346	293	266	242	205	177	139	99
他会計借入金償還金	42	98	222	256	299	363	439	465	499	558	631	704	779
資本的収入額が資本的支出額に不足する額	▲ 828	▲ 792	▲ 859	▲ 818	▲ 843	▲ 840	▲ 863	▲ 861	▲ 871	▲ 893	▲ 938	▲ 973	▲ 1,008
補填財源	828	792	859	818	843	840	863	861	871	893	938	973	1,008
企業債等残高	6,829	6,826	6,955	7,055	7,246	7,876	8,939	8,865	8,941	9,574	10,282	11,049	11,764

※財政計画の考え方

事業量		渋川工水、東毛工水ともにR12まで増量と見込む。	
収益的 収支	収入	営業収益	R2年度当初の契約料金で試算
	支出	維持管理費	H27～R元年度実績の平均とする。
		減価償却費	既存のものはR元年度末時点の「償却・収益化試算表」による。 新規のものは「設備投資計画」に基づく試算による。

(単位：千m³/年)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
75,093	75,298	75,093	75,093	75,093	75,298	75,093	75,093	75,093	75,298	75,093	75,093	75,093	75,298	75,093	75,093	75,093
43,296	43,415	43,296	43,296	43,296	43,415	43,296	43,296	43,296	43,415	43,296	43,296	43,296	43,415	43,296	43,296	43,296
31,796	31,883	31,796	31,796	31,796	31,883	31,796	31,796	31,796	31,883	31,796	31,796	31,796	31,883	31,796	31,796	31,796
47,905	48,036	47,905	47,905	47,905	48,036	47,905	47,995	47,905	48,036	47,905	47,995	47,905	48,036	47,905	47,905	47,905
32,757	32,847	32,757	32,757	32,757	32,847	32,757	32,847	32,757	32,847	32,757	32,847	32,757	32,847	32,757	32,757	32,757
15,148	15,189	15,148	15,148	15,148	15,189	15,148	15,148	15,148	15,189	15,148	15,148	15,148	15,189	15,148	15,148	15,148

(単位：百万円)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
1,897	1,893	1,882	1,877	1,871	1,869	1,861	1,846	1,836	1,824	1,816	1,815	1,814	1,816	1,808	1,806	1,806
1,632	1,636	1,632	1,632	1,632	1,636	1,632	1,632	1,632	1,632	1,636	1,632	1,632	1,636	1,632	1,632	1,632
1,842	1,826	1,821	1,812	1,814	1,793	1,800	1,767	1,725	1,639	1,641	1,650	1,647	1,625	1,594	1,549	1,565
586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586	586
514	473	445	425	405	374	364	315	253	176	165	163	157	151	145	142	142
509	536	560	586	609	620	637	653	673	665	679	690	693	677	653	634	651
55	68	62	65	57	76	61	80	111	184	174	165	167	190	213	258	241

(単位：百万円)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
928	818	955	990	990	1,100	721	810	680	785	525	526	575	439	400	638	470
928	818	955	990	990	1,100	721	810	680	785	525	526	575	439	400	638	470
1,947	1,876	2,026	2,105	2,151	2,310	1,941	2,042	1,916	2,016	1,754	1,738	1,751	1,550	1,462	1,682	1,479
1,058	948	1,085	1,120	1,120	1,230	851	940	810	915	655	656	705	569	530	768	600
66	58	30	28	28	29	23	13	7	4	0	0	0	0	0	0	0
823	870	911	957	1,004	1,052	1,068	1,089	1,100	1,097	1,099	1,082	1,046	981	933	914	879
▲ 1,020	▲ 1,058	▲ 1,071	▲ 1,115	▲ 1,162	▲ 1,210	▲ 1,220	▲ 1,232	▲ 1,237	▲ 1,230	▲ 1,229	▲ 1,212	▲ 1,176	▲ 1,111	▲ 1,063	▲ 1,044	▲ 1,009
1,020	1,058	1,071	1,115	1,162	1,210	1,220	1,232	1,237	1,230	1,229	1,212	1,176	1,111	1,063	1,044	1,009
11,793	11,839	11,758	11,774	11,778	11,736	11,761	11,402	11,115	10,692	10,380	9,807	9,251	8,781	8,238	7,705	7,430

資本的 収支	収入	他会計借入金	「設備投資計画」による。
	支出	建設改良費	設備整備費を「設備投資計画」に基づき計上
		企業債償還金	「企業債管理表」による。
		他会計借入金償還金	「他会計借入金償還計画」+新規は「設備投資計画」に基づき試算
補填財源	資金的収入額が資本的支出額に不足することに対し、資金の不足がないように裏付ける財源。例えば、損益勘定留保資金や利益剰余金などが該当する。		
企業債等残高	「企業債管理表」及び「他会計借入金償還計画」による。		

4 水道事業

(1) 設備投資計画

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
建設改良費	900	1,604	4,519	2,834	2,597	37	44	28	40	22	27	3	27
設備整備費	536	1,341	1,037	1,736	1,171	2,000	1,351	646	767	530	508	738	493
老朽化対策	536	1,341	1,037	1,736	1,171	2,000	1,351	646	767	530	508	738	493
合計	1,435	2,945	5,557	4,570	3,768	2,037	1,395	674	807	553	535	740	520

主な工事内容

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
建設改良費														
県一	1系機械設備更新工事													
	2系機械設備更新工事													
	送水管路布設工事													
	汚泥掻取機更新工事													
	天日乾燥床増設工事													
	ポンプ機械設備更新工事													
設備整備費（老朽化対策）														
県一	1・2系各種設備更新工事													
	3系各種設備更新工事													
	薬品注入設備更新工事													
	原水調整池設備更新工事													
	監視制御設備更新工事													
	発電所更新工事													
県二	受変電設備更新工事													
	ポンプ関連設備更新工事													
	水質検査関連設備更新工事													
	脱水機棟設備更新工事													
	ろ過池設備更新工事													
	沈澱池設備更新工事													
	監視制御装置更新工事													
流量計更新工事														

(単位:百万円)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	合計
2	916	883	1,698	2,214	2,638	2,221	2,184	2,197	2,124	1,477	1,216	1,646	606	1,216	46	128	36,097
682	347	416	77	731	1,021	990	1,778	1,064	1,153	2,491	1,477	827	710	2,180	1,737	1,889	32,425
682	347	416	77	731	1,021	990	1,778	1,064	1,153	2,491	1,477	827	710	2,180	1,737	1,889	32,425
685	1,263	1,300	1,775	2,945	3,659	3,211	3,962	3,261	3,278	3,968	2,693	2,474	1,316	3,395	1,784	2,017	68,522



(2) 財政計画

ア 事業量

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
給水計画	65,536	65,536	66,182	66,467	66,932	67,397	68,047	68,327	68,792	69,256	69,447	69,257	69,257
県央第一水道	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432
県央第二水道	20,105	20,105	20,626	21,035	21,500	21,965	22,491	22,895	23,360	23,825	23,891	23,825	23,825
実給水量	65,536	65,536	66,182	66,467	66,932	67,397	68,047	68,327	68,792	69,257	69,447	69,257	69,257
県央第一水道	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432
県央第二水道	20,105	20,105	20,626	21,035	21,500	21,965	22,491	22,895	23,360	23,825	23,891	23,825	23,825

イ 収益的収支

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収入	4,767	4,718	4,641	4,651	4,673	4,696	4,726	4,734	4,746	4,761	4,747	4,708	4,684
営業収益	4,466	4,446	4,374	4,387	4,410	4,433	4,467	4,476	4,496	4,515	4,503	4,467	4,443
支出	3,244	3,198	3,386	3,515	3,622	3,868	3,941	3,974	3,945	3,939	3,942	3,935	3,936
維持管理費	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281
減価償却費(既存)	1,501	1,367	1,336	1,313	1,300	1,286	1,259	1,229	1,185	1,163	1,153	1,144	1,129
減価償却費(新規)	107	231	465	637	787	1,063	1,176	1,250	1,273	1,297	1,318	1,328	1,350
当年度純損益	1,523	1,520	1,255	1,136	1,051	828	786	760	801	823	805	773	748

ウ 資本的収支

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出	2,439	3,942	6,516	5,496	4,567	2,719	2,016	1,166	1,273	979	906	1,066	779
建設改良費	1,435	2,945	5,557	4,570	3,768	2,037	1,395	674	807	553	535	740	520
企業償還金	1,004	997	959	926	799	681	620	492	466	427	371	326	259
資本的収入額が資本的支出額に不足する額	▲ 2,439	▲ 3,942	▲ 6,516	▲ 5,496	▲ 4,567	▲ 2,719	▲ 2,016	▲ 1,166	▲ 1,273	▲ 979	▲ 906	▲ 1,066	▲ 779
補填財源	2,439	3,942	6,516	5,496	4,567	2,719	2,016	1,166	1,273	979	906	1,066	779
企業債残高	8,516	7,519	6,560	5,633	4,834	4,153	3,533	3,041	2,575	2,148	1,777	1,451	1,193

※財政計画の考え方

事業量		県二はR12まで増量と見込む。	
収益的 収支	収入	営業収益	県一は50円、県二は100円からR32まで3年ごとに定期的な見直しを行う。
	支出	維持管理費	H27～R元年度実績の平均とする。
		減価償却費	既存のものはR元年度末時点の「償却・収益化試算表」による。 新規のものは「設備投資計画」に基づき試算

(単位：千m³/年)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
69,257	69,447	69,257	69,257	69,257	69,447	69,257	69,257	69,257	69,447	69,257	69,257	69,257	69,447	69,257	69,257	69,257
45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432
23,825	23,891	23,825	23,825	23,825	23,891	23,825	23,825	23,825	23,891	23,825	23,825	23,825	23,891	23,825	23,825	23,825
69,257	69,447	69,257	69,257	69,257	69,447	69,257	69,257	69,257	69,447	69,257	69,257	69,257	69,447	69,257	69,257	69,257
45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432	45,556	45,432	45,432	45,432
23,825	23,891	23,825	23,825	23,825	23,891	23,825	23,825	23,825	23,891	23,825	23,825	23,825	23,891	23,825	23,825	23,825

(単位：百万円)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
4,659	4,646	4,610	4,581	4,556	4,542	4,468	4,418	4,377	4,356	4,315	4,286	4,258	4,245	4,209	4,185	4,161
4,419	4,407	4,372	4,348	4,324	4,312	4,276	4,252	4,229	4,216	4,181	4,157	4,133	4,121	4,086	4,062	4,038
3,918	3,889	3,848	3,870	3,907	3,822	3,759	3,739	3,525	3,506	3,478	3,550	3,688	3,681	3,657	3,879	3,910
1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281	1,281
1,114	1,088	1,011	970	964	927	774	674	617	565	504	484	468	467	465	457	457
1,351	1,352	1,391	1,451	1,496	1,450	1,540	1,628	1,471	1,498	1,530	1,630	1,775	1,771	1,757	1,986	2,017
741	757	762	711	649	720	709	679	853	850	837	736	569	564	552	306	251

(単位：百万円)

R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
916	1,449	1,427	1,895	3,040	3,750	3,270	4,019	3,288	3,297	3,980	2,702	2,482	1,324	3,401	1,789	2,023
685	1,263	1,300	1,775	2,945	3,659	3,211	3,962	3,261	3,278	3,968	2,693	2,474	1,316	3,395	1,784	2,017
231	187	128	120	95	91	59	56	26	19	12	8	8	9	6	6	6
▲ 916	▲ 1,449	▲ 1,427	▲ 1,895	▲ 3,040	▲ 3,750	▲ 3,270	▲ 4,019	▲ 3,288	▲ 3,297	▲ 3,980	▲ 2,702	▲ 2,482	▲ 1,324	▲ 3,401	▲ 1,789	▲ 2,023
916	1,449	1,427	1,895	3,040	3,750	3,270	4,019	3,288	3,297	3,980	2,702	2,482	1,324	3,401	1,789	2,023
962	775	647	527	432	341	282	225	199	180	168	160	151	143	137	131	126

資本的 収支	収入		見込んでいない。
	支出	建設改良費 企業債償還金	建設改良費及び設備整備費を「設備投資計画」に基づき計上 「企業債管理表」による。
補填財源			資金的収入額が資本的支出額に不足することに対し、資金の不足がないように裏付ける財源。例えば、損益勘定留保資金や利益剰余金などが該当する。
企業債残高			「企業債管理表」による。

用語の解説

<事業関係用語>

事業名	ページ	用語	解説
第1章	1	リーマンショック	2008年9月、バブル崩壊後の大きな損失を抱えたアメリカの投資銀行「リーマン・ブラザーズ・ホールディングス」が経営破綻したことに端を発した世界規模の金融危機のことです。
	1	P D C A サイクル	事業を行う中で、「Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)」を繰り返し行い、継続的に事業改善していくための手法です。
第2章	2	アセットマネジメント	施設・設備の老朽化が進む中で持続可能な事業運営を目指すため、中長期的な視点に立ち施設・設備の更新等を計画的に実行し、ライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に資金や資産(アセット)を管理することです。
	2	電力システム改革	東日本大震災やそれに伴う原子力事故を背景に、分散電源や再生可能エネルギーなどの電源の多様化、電気料金の一層の抑制、系統運用の広域化、需要家ニーズへの対応などが求められたことから、これまでの地域ごとに独占的事業者が電気を供給する仕組みを見直し、より柔軟なシステムにより、低廉かつ安定的な供給を一層進めることを目的とした改革。 「安定供給を確保すること」、「電気料金を最大限抑制すること」、「需要家の選択肢や事業者の事業機会を拡大すること」の3つを目的に掲げ、広域系統運用の拡大、小売・発電の全面自由化、法的分離の方式による送配電部門の中立性の一層の確保の3つの改革を実施しています。
	2	卸規制	一定の規模、期間を超える一般電気事業者に対する電気の供給に対して、原価主義により料金を算定し、経済産業省に届出を出させること。電力システム改革における電力の自由化の流れの中で、2016年に撤廃されました。
	2	総括原価方式	総ての経費を積み上げた原価に基づいて料金を定める算定方式のことです。
	3	パリ協定	2015年に合意された気候変動問題に関する国際的な枠組み。世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べ2°Cより低く保ち、1.5°Cに抑える努力をすることで、21世紀後半には温室効果ガス排出量と吸収量のバランスをとることが長期目標として掲げられています。日本では、2030年までに2013年比で26%の温室効果ガス削減を中期目標に掲げています。
3	ぐんま5つのゼロ宣言	群馬県として、自然災害によるリスク、地球温暖化、海洋プラスチックゴミによる生態系破壊、食品ロス等の環境課題を2050年までに解決し、災害に強く、持続可能な社会を構築することを目標にする宣言。「自然災害による死者ゼロ」・「温室効果ガス排出量ゼロ」・「災害時の停電ゼロ」・「プラスチックゴミゼロ」・「食品ロスゼロ」の5つのゼロを掲げています。	

事業名	ページ	用語	解説
第3章「電気事業」	5	公営電気事業者	地方公共団体が経営する電気事業者で、現在24都道府県1市の25事業者があります。主に水力発電による電気を、電力会社等に売電しています。
	5	固定価格買取制度(FIT)	太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスの再生可能エネルギー源を用いて発電された電気を、国の定める価格で一定期間電気事業者が買い取ることを義務付ける制度のことです。
	5	汽力発電所	蒸気の膨張力を利用した発電所です。高浜発電所は、高浜クリーンセンターから供給される高温・高圧の蒸気により、蒸気タービンを回し発電しています。
	6	公営平均	総務省で取りまとめている全国の地方公営企業の決算を基に示した経営指標を平均したものです。
	7	レジリエンス強化	「強靱性」あるいは「回復力」や「弾力性」を示す言葉で、災害に強いインフラ整備に加え、早期復旧のための事業者との連携強化、情報発信の強化などの取り組みです。
	10	オーバーホール	水車発電機の機械・装置類を分解点検し、性能を回復するために必要な修繕や部品交換などを行うことです。
	10	ランナー	水車発電機の羽根車（水の圧力を受けて回転する部分）のことです。
	11	集中監視制御システム	各発電所を一括で制御するためのシステムのことで、
	11	事故予兆診断システム	水車発電機等に設置した各種センサーにより取得したデータをIoT技術の活用により遠隔伝送し、故障の予兆を発見するためのシステムです。
	11	保安規程	電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の確保を目的として、電気主任技術者を中心とする電気工作物の保安管理組織、保安業務の分掌、指揮命令系統など、企業局内保安体制と具体的保安業務の基本事項を定めるものです。
	11	電気主任技術者	事業用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督をさせるため、設置者が電気事業法上置かなければならない電気保安のための責任者のことです。指名に際しては、事業場の規模により、第一種、第二種及び第三種電気主任技術者資格の保有者のうちから選出しなければなりません。
	12	開発可能性調査	水力発電所開発を推進するため、未開発地点について経済性及び自然・社会環境に関する課題を調査・分析することです。今後は、既存ダムへの発電設備の設置や、中小河川を中心に調査を進めていく予定です。
	12	踏査	実際に現地に行き調査を行うことです。
	12	水素発電	水素は発電時に水のみ発生し、CO ₂ （二酸化炭素）を発生しないエネルギー源で温暖化防止対策として期待されている発電方式です。
	13	CO ₂ フリー電力	「水力発電」や「太陽光発電」、「風力発電」など、発電するときに「CO ₂ 」を出さない電気のことで、
	13	環境価値	再生可能エネルギーによるグリーン電力がもつ、環境負荷の小ささや創エネ・省エネなどの価値を、環境価値と呼びます。グリーン電力証書のように環境価値を「見える化」する仕組みや、CO ₂ 排出削減量や森林吸収量を国が認証するJ-クレジット制度のような評価制度も整いつつある。
	14	電力受給基本契約	東京電力エナジーパートナー(株)と県営発電所の発生電力の需給の基本的な事項について契約したもので、期間については、平成21年4月1日から令和5年3月31日となっています。
14	電力の小売全面自由化	「電力システム改革に関する改革方針」(平成25年4月2日閣議決定)において、①広域系統運用の拡大、②小売及び発電の全面自由化、③法的分離の方式による送配電部門の中立性の一層の確保という3段階からなる改革が示され、2016年(平成28年)4月1日に、電気の小売業が全面自由化され、家庭や商店も含む全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになりました。	

事業名	ページ	用語	解説
第3章「電気事業」	14	卸規制の撤廃	卸規制は、一定の規模・期間を超える一般電気事業者に対する電気の供給は、原価主義により料金を算定し、経済産業大臣に届け出ることになっていましたが、2016年4月に小売参入全面自由化と同時に撤廃されました。
	14	電力市場	1990年半ばから徐々に始まった電力自由化により発電部門と小売部門に競争が導入され、卸電力市場と小売電力市場が形成され、いずれもエネルギーとしての電力（kWh）を取引する市場です。 その他に、実需給の前日に取引を行う「前日市場（スポット市場）」、当日の発電不調や発電・需要調整の場として、実需給の1時間前までに取引を行う「当日市場（時間前市場）」、将来の特定期間（1年間、1か月、1週間）に受け渡しを取引する「先渡市場」などがあります。 それ以外に「ベースロード市場」「受給調整市場」「容量市場」「非化石価値取引市場」が、それぞれの価値に対応して創設され、運用、あるいは制度設計の段階となっています。
	14	全量従量制	売買料金を供給電力量×売電単価で受け取る制度です。渇水や日照不足など自然エネルギーならではのリスクにより、収入が大きく変動することが懸念されます。
	14	JICA	独立行政法人国際協力機構（Japan International Cooperation Agency）の略。 開発途上国が抱えるさまざまな課題解決に向け、技術協力、有償資金協力、無償資金協力という3つの援助手法を一元的に手がけることで、より速く、より効率的に効果の高い援助を実施しています。青年海外協力隊もJICAの業務です。

事業名	ページ	用語	解説
第3章「工業用水道事業」	20	契約水量	給水先事業所と契約を交わした1日当たり最大給水量。
	20	給水量	給水先事業所に実際に供給した給水量。
	20	施設利用率	配水能力に対する1日平均配水量の割合を示すもの。
	24	沈澱池	薬を入れ水の中の細かい濁りや汚れをかたまり（フロック）にして沈める池。
	24	水管橋	配水管路が河川や水路などを横断するために設けた送水用の橋梁。
	24	配水池	きれいになった水をためる池。
	24	取水口	河川水を取り入れる施設。
	24	濃縮槽	沈澱池にたまった泥を集める池。
	25	情報伝達訓練	災害時や、給水制限等が発生した際に、どのような情報をどのように伝達するかを確認する訓練。
	26	クラウド管理	ユーザー、データ、アプリケーション、サービスなどをすべてクラウドで管理することで、クラウド管理ツールを通して、インフラストラクチャ、プラットフォーム、アプリケーション、データを管理者として制御できます。
	26	ハンディターミナル	直訳すると「携帯端末」であり、携帯性に優れたデータ収集用の端末。
	26	浄水発生土	川を流れる水などから浄水場で工業用水や水道用水を作る際に、元の水にふくまれていた濁りや汚れを取り除きます。その結果発生する土が浄水発生土です。
	27	凝集剤（PAC）	そのままでは沈降しないコロイド粒子（粒子径1nm～1μm）の表面電荷を中和して粒子同士を結合し、フロックを生成させる薬剤。主にポリ塩化アルミニウム（PAC）を使用しています。
	27	伏流水	河川敷や旧河道の下層を流れている地下水で、地表の河川と水理的な関係がある流れのことです。
28	浄水処理能力	1日当たりに作れる工業用水の量。	
28	管路耐震化率	一般的には、導水管+送水管+配水本管の管路全体の内、耐震適合性を有する管が布設されている割合を示します。 本書においては、管路の耐震化済み給水能力について、管路の途中に未耐震化区間がある場合には、その区間から先をすべて未耐震化区間とカウントし、未耐震化の給水量としています。 そのため、管路耐震化率=耐震化済み管路の給水量÷総契約水量となります。	
第3章「水道事業」	31	県央地域広域的水道整備計画	水道の計画的な整備や水道に関する諸問題を解決していくため、昭和53年3月に群馬県が「群馬県水道整備基本構想」を策定しました。この基本構想では、県内を5つの広域圏に区分し地域ごとに基本方針を示しています。「県央地域広域的水道整備計画」は、基本構想を受けて、基本構想における県内5つの広域圏のうち、県央地域についての整備計画を示すものとして昭和53年3月に策定されたものです。
	31	水道水質検査優良試験所規範（水道GLP）	水道の水質検査を実施する機関が、管理された体制の下で適正に検査を実施し、その検査結果の信頼性や精度管理が十分に確立されているかを第三者機関（（公社）日本水道協会）が客観的に判断、評価し認定する制度のことです。水道GLPは、水道水質検査優良試験所規範（Good Laboratory Practice）の略。
	32	協定水量	企業局と受水市町村の間で取り決めをしている受水市町村に送る水道水の供給量。
	34	減断水	自然災害等により、受水市町村への供給量が減少したり、送れなくなること。
	34	施設能力	浄水施設において給水可能な最大能力（1日当たりの水量）。
	36	水安全計画	食品衛生管理手法である「危害要因分析重要管理点（HACCP）」の考え方を導入し、水源から給水栓までのあらゆる課程において、水道水の水質に悪影響を及ぼす可能性のある全ての要因（危害）を分析し、管理対応する方法を予め定める水質管理手法。
	36	原水	浄水処理を行う前の水。
	36	水源調査	浄水場の水源である河川等において実施する水質調査。浄水処理に影響する水質項目や長期的な動向を把握するために必要な項目について調査を行い、適切な浄水処理に活用します。
	37	遠方監視設備	専用通信回線を利用して、浄水場から離れた場所にある中継ポンプ場などの機器を監視・制御するための設備。
	37	ウェアラブルカメラ	ヘルメットやバンドなどで身体等に装着し、ハンズフリーで撮影することを目的とした小型カメラの総称。スポーツカム、アクションカム、アクションカメラとも呼ばれています。
	38	広域連携	施設利用率の向上のため、水道事業者間において行う管理の一体化や事業統合・共同経営等の多様な経営改革への取組。
39	水道発電	水道施設間の高低差から生じるエネルギーを利用した水力発電。	

事業名	ページ	用語	解説
第3章 「団地造成事業」	47	工場立地動向調査	経済産業省が、工場立地法に基づき、製造業等を営むための工場等を建設する目的で1,000㎡以上の用地を取得した者を調査するものです。年に2回公表されます。
	47	県企業誘致推進本部	群馬県の経済の活性化、雇用の場の提供及び税收増に向け、企業誘致を積極的かつ効果的に推進するため、知事を本部長に庁内関係部局長で構成され設置される機関。企業誘致推進のための総合的な対策の検討や新規産業団地造成候補地の選定などを行います。
	48	データセンター	一般企業等から情報や情報機器を預かり、管理する専用施設。契約者は、通信回線を通じて外部から情報等のやりとりをします。インターネットの普及により需要が増大しています。
	48	新エネルギー	平成9年に制定された新エネルギー法において定義され、再生可能エネルギーのうち、バイオマス、太陽熱、雪氷熱、地熱、風力、太陽光の総称として、使われています。
	49	浸水リスク	自治体が発表するハザードマップにより示されている水害リスク。
	49	レディメイド（方式）	企業局が事業主体となって造成から分譲までを行う方式。
	49	オーダーメイド（方式）	立地希望のある企業や市町村等からの要望に基づいて、企業局が事業主体となって造成を行う方式のことです。
	51	メディアミックス	商品を広告する際に広告方法の異なる複数のメディアを組み合わせることにより、各メディア間の補完と相乗効果によって認知度を高め喚起する手法。
	51	卸分譲	建売販売を目的とする住宅販売会社等とまとまった区画を一括して分譲する方式。
51	共同分譲	住宅販売業者と共同して分譲する方式。	
「施設管理事業」 第3章	58	長期保全計画	建築設備の良好な状態を維持するための点検・保全計画。
	60	指定管理者制度	民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、施設の設置の目的を効果的に達成するため、民間事業者等に管理運営を委ねる制度。県営ゴルフ場についても、平成18年度からサービス向上や経費削減を図ることを目的として指定管理者制度を導入しています。
	62	パブリックゴルフ場	特定の会員がいないため、誰でも平等にプレーができるゴルフ場。
	64	スループレー利用者	昼食休憩等を挟まずにラウンドするプレー方法。
第4章	66	バブル	1986～1991年に日本で起こった資産価格の上昇と好景気の通称。株式や不動産などの時価資産の需要増大による価格高騰が繰り返し起こり、資産のインフレスパイラルが生じた状態。
	67	現場の知データベース	現場で事業を遂行する中で、職員に蓄積された様々な知識や技術（「現場の知」）が、職員の異動・退職等に伴い、継承されず消失してしまうことを防ぐため、「現場の知」を文書化し、職員間で共有することで、事業の技術発展、事故防止、業務効率化等を図るためのデータベース。
	67	PPP （パブリック・プライベート・パートナーシップ）	公民が連携して公共サービスの提供を行う手法。 具体的に、PFIや指定管理制度、市場化テスト、包括的民間委託などがあります。
	67	PFI （プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）	公共施設等の設計・建設や管理運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を行う経営手法です。PPPの代表的な手法の一つです。
	69	発電用施設	発電を行うための諸施設。発電所はもちろんのこと、各発電所を管理運営する発電事務所、水力発電を行うために貯水するダム（企業局が所有するダムは、平出ダム・中之条ダム・神水ダム・高津戸ダム・黒坂石ダムの5つのダム）などがあります。各発電事務所では、所管するダムのダムカードを配布しています。
	69	発電用ダム施設	
	69	災害用備蓄飲料水	災害時の飲料水を確保するため、県央第二水道で浄水処理した水を企業局各所属が保管している備蓄用ペットボトル飲料水。ペットボトルのほかに、市町村水道が停止した場合には、県営の浄水場や調整池から直接給水を行うことも可能であり、災害時の断水を防止する体制を整えています。
69	小型水力発電	明確な基準はないが、一般的に概ね1,000kW以下の水力発電の通称。河川の水をためることなくそのまま利用し、エネルギーを有効活用する発電方式。	

＜地方公営企業会計用語＞

用語	解説
営業収益	本書で記載された営業収益は、電気事業においては「販売電力量の収入」等を、工業用水道事業及び水道事業においては「水道料金の収入」等を、団地造成事業においては「分譲収入」等を、施設管理事業においては「賃貸料の収入」や「納付金収入」等のことです。
企業債借入金	公営企業を経営する地方公共団体が、固定資産の取得又は改良の財源に充てるために起こす地方債による長期借入金。
企業債等残高	公営企業を経営する地方公共団体が、固定資産の取得又は改良の財源に充てるために起こす地方債及び企業局内の他事業会計からの借入金等の合計の残高のことです。
経常収支比率	$\text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$ 経常的な収益と経常的な費用のバランスを示す指標であり、値が大きいほど収益性が高いことを示します。この指標が100%を上回っていれば、当該事業は費用を収益で賄っており、経常利益を出しているということになります。 一方、100%を下回っていると、収益規模より過大な費用が生じており、経常損失を出しているということになります。
経常損益	会計期間における事業の経常的経費の利益・損失額を示すもので、営業損益に営業外収益及び費用を加減した額のことです。
減価償却費	固定資産について、経年による価値の減少をその耐用年数に応じて費用計上するものです。
収益的収支（損益収支）・資本的収支	会計上の区分であり、収益的収支は損益計算書に関するものの収入及び支出であり、資本的収支は貸借対照表に関するものの収入及び支出です。
除却費（除却損・除却工事費）	使わなくなった固定資産等を除却（廃棄）する際に生じる費用のことです。未償却部分は除却損として処理し、除却に必要な工事費については除却工事費として計上します。
純損益	会計期間における事業の最終的な利益・損失額を示すもので、経常損益に特別利益・特別損失を加減した額のことです。プラスであれば純利益、マイナスであれば純損失となります。
損益勘定留保資金	収益的収支における現金支出を必要としない資金を費用に計上することによって留保される資金。例えば、減価償却費や固定資産除却損などがあります。
他会計借入金・貸付金	企業局内の事業会計間の借入金又は貸付金。
長期前受金（戻入）	償却資産の取得に充てた補助金等については、受け入れた時点で負債として長期前受金に計上し、会計年度ごとに減価償却見合い分を長期前受金戻入とし収益化します。
補填財源	資金的収入額が資本的支出額に不足することに対し、資金の不足がないように、裏付ける財源のことです。例えば、損益勘定留保資金や利益剰余金などがあります。
有形固定資産減価償却率	$\text{有形固定資産減価償却累計額} \div \text{有形固定資産のうち償却資産の取得価額} \times 100$ 減価償却を要する有形固定資産が、どれだけ償却が進行しているかを示す指標であり、この指標が大きいほど老朽化が進んでいるといえます。